



羅針盤30

伊豆市立中伊豆中学校
進路だより 第30号
R 2. 3. 13発行
進路担当 山崎

《3年生の皆さんへ》

1学期に、「高校見学や体験入学はいくつも行ったほうが自分のためになるよ。」と言いました。実際2・3月に受験した高校は、その時訪問した高校でしたか。夏休み前に、「学力を伸ばすのは夏休みが勝負だよ。」と言いました。夏休みから3月まで、継続して勉強ができましたか。12月に、「ここからは1日1日が早く過ぎていくよ。」と言いました。皆さんは、どれくらい時間が経つのが早く感じられましたか。

皆さんは、4月から様々な道に進みます。その時に皆さんに持ってほしいのが「羅針盤」です。これから先は、いろいろな分岐点がありますが、自分の個性や特性を考えて将来の目標をしっかりと持っていれば、「羅針盤」の指し示す方向へ進むことができます。前に進むばかりではなく、右や左に、ときには後ろに下がることもあっていいのです。自分の「羅針盤」を見ながら、今できることをしてください。自分の頭でしっかり考え、自分で道を選んでいってください。

この1年間、初めて人生の中の大きな節目を迎え、「自分で選択する」という大変さを学んだことと思います。その中で、失敗したことや、後悔していることもあるかもしれません。これからの人生にも、たくさんの岐路があり、悩んだり迷ったり、失敗したりすることはたくさんあります。でも、失敗や挫折からは成功したことよりも多くのことを学べるはずですよ。そして、失敗や挫折があるから、成功した時の喜びもより大きくなるのだと思います。皆さんの人生はまだまだ始まったばかりです。この経験をぜひ次のステップに活かしていってください。みなさんが、幸せな人生を歩んでいってくれることを願っています。



《公立併願者の私立高校入学手続について》重要!

残念ながら公立高校が不合格だった人は、私立高校の入学手続を取ることになります。私立高校の合格通知書類に、入学手続の方法や締め切り日が記載されています。くれぐれも遅れることのないように、入学手続をお願いします。

公立高校に合格した場合は、私立高校への入学辞退届を中学校が提出します。こちらは中学校で作成し高校に提出するので、保護者の方は手続を行う必要はありません。

公立高校の入学説明会や入学手続については、合格通知書とともに配布される（または後日配布される）高校からの書類を確認してください。（中学校には書類の予備はありませんので、それぞれのご家庭で確認、保管をよろしくをお願いします。）

《高校の学習課題について》

多くの高校では、入学手続を行うと春休み中の課題が渡されます。また、4月には課題の内容から新入生学力テストを行う学校がほとんどです。テストをやらなくても、4月からの授業で確認テストを行うこともあるそうです。中学校は卒業に向けて締めくくりを迎えようとしていますが、高校の学習は既にスタートしているのです。私立単願者はすでに課題が配布されている学校がほとんどですね。課題が未提出だったりやりきれなかったりすることがないように、計画的に学習していきましょう。



ある生徒から、「高校入試の受験票ってどうすればいいですか？捨てていいですか？」と質問されました。今後、入学するまでの間に高校に問い合わせをする際、受験番号を聞かれることがあります。また、自分がその高校を受験した証になります。大切に保管しておきましょう。

◆◆◆『夢を叶える』ために◆◆◆

「夢を叶える」といっても、どうやって叶えればいいのでしょうか？

今年度の進路だより（4月・第2号）に、獣医になった私の友達のことを書きました。他にも、いろいろな人生を歩んでいる中学校の同級生がいるので紹介します。（字が小さくてすみません。）

① 【自衛隊→ニュージーランドで働く→自動車整備士】

幼稚園～中学校まで一緒の同級生の彼は、小学校の頃から戦闘機や戦車が好きで、高校生のときはサバイバルゲームで遊んでいる人でした。でも、彼が自衛隊を選んだのは趣味だったからではありません。自衛隊では給料をもらいながら様々な資格取得ができるのです。将来の就職のため、自動車免許はもちろん、車の整備、危険物取扱いなど多くの資格を取りました。



そして3年ほどして自衛隊を辞め、「ワーキングホリデー制度」を使ってニュージーランドに行きます。働きながら外国で暮らすという夢があったそうです。彼は、中学校の英語の成績は「3」程度。でも、現地に行って英会話の力もどんどんつきました。数年経って日本に帰国し、自衛隊のときに取った資格を生かして自動車整備士として自動車販売会社に就職しました。

② 【ピアニスト→病気による苦悩→作曲家】

彼は、幼稚園～高校まで一緒の同級生です。小さい頃から音楽が好きで、高校卒業後、スタジオミュージシャンという夢に向かって上京。ジャズピアニストに弟子入りし、少しずつピアニストとしての仕事ももらえるようになりました。しかし、22歳の時に突然『フォーカル・ジストニア』という病に襲われます。演奏の本番中、突然右手の薬指と小指が動かなくなったのです。自分の意志に反して身体の一部が筋肉収縮を起こす神経疾患で、詳しい原因や根本的な治療法は現在も確立されていません。ショックで、最初の2年間くらいは事実を受け入れられず、精神的にもどんどん追い込まれていきました。



でも、彼は「自分の夢は音楽に携わること、同じ病気の人に勇気を与えること」という思いから、作曲の道を目指します。海外の音楽関係者とコミュニケーションを取るために、不得意科目の英語を徹底的に勉強し、様々な仕事をこなし、人脈を作ります。そこからテレビCMやゲーム音楽の作曲依頼が入り始め、今は舞台音楽の作曲やオーケストラのプロデューサーの立場の仕事を行っています。また、海外の演奏会にも携わり、世界中を飛び回る毎日です。

③ 【競輪選手→引退・修業→ラーメン店経営】

中学校の同級生は、修善寺工（現伊豆総合）の自転車競技部に入り、自転車の魅力に取りつかれました。競輪学校を受験し、見事合格。日本全国を転戦し、勝利を重ね、一般の会社員には考えられない高額の賞金を獲得するようになります。



しかし、会社員と比べてスポーツ選手の寿命は短く、彼も引退を迎えました。彼は、競輪選手の時分から次の職業を考えます。食を通して多くの人に笑顔になってもらいたいと考え、ラーメン店で修業します。修業では師匠から教えてもらえることばかりではなく、自らスープや麺の作り方を模索しました。そして数年前ついに自分の店舗を開き、多くのお客さんと賑わう店になりました。

もちろん、会社員や公務員、函南でスイカを作っている農家の同級生もたくさんいます。でも、「特別な人生」ではなくても、誰もが自分の進む道を真剣に考え、ベストを尽くそうとしています。

「自分の人生をどのように歩むか」を考え、自分の夢を持ち、努力し続けることで、誰もが自分の『夢を叶える』ことができるのだと思います。皆さんも、夢を叶えてください。応援しています。

保護者の皆様へ

朝日新聞『折々のことば』より（2015.4.2）

迷惑かけて ありがとう

たこ八郎（コメディアン、元ボクサー）

迷惑かけて「ごめんさい、すみません」ではなくて「ありがとう」。私たちは知らず知らずのうちに周りの人に迷惑をかけ、周りの人は「困ったやつだ」と思いつつ、私たちの気付かないところで手助けをしてくれています。迷惑かけずに生きられる人なんていません。進路だより「羅針盤」も、最後の号になりました。進路担当として、もっとお伝えしなければならなかったことがありました。説明不足を保護者の方が補ってくださったこともあったと思います。進路担当として、「迷惑かけてありがとう」ございました。

保護者の皆様、中伊豆中の教育にご理解ご協力いただきまして、本当にありがとうございます。

※今年度の進路だより「羅針盤」は、中伊豆中HPに掲載してありますのでご覧ください。